



カラフルでポップなアメリカらしいデザインの服や小物がずらり。元々はご主人が経営するバーで古着の販売を始めたという秋場さんのお店には、長年のファンも多くいます



憧れの  
アメリカ古着  
が叶います!



わたしが  
取材しました!

市民ライター  
YUKOさん(見沼区在住)

さいたま市で生まれ育ち、現在は2歳の男の子を育てている主婦です。子育てを通じて改めて気付かされた街の魅力をお伝えできたら嬉しいです。



アーリーアメリカン調の  
「FLAME」の外観



ここがアガる↑  
扇の向こうは  
もうアメリカ!

お子さんからコレクター  
まで楽しめる品揃え

創業から29年、2006年からは自宅の敷地内にて営業を続ける古着＆雑貨屋「FLAME」。6畳ほどのログハウスに一歩足を踏み入れると、そこはまるでアメリカを詰め込んだかのような異空間。当初は子ども服の古着と子ども用品のみを販売していたそうですが、現在では新品の洋服やキャラクターグッズ、年代物のミールトイ(ファストフードのおまけで貰えるおもちゃ)など、幅広いアイテムが店内を埋め尽くしています。

オーナーの秋場雪路さんがアメリカの子ども服と出会ったのは、まだお子さんが小さかった頃のこと。当時、ハワイ在住の友人から子ども服のお下がりをもらつたことがきっかけで、長く着ても傷みにくい生地の丈夫さや個性的なデザインなどに惚れ込み、アメリカ古着にどんどん魅了されていったそうです。

憧れの  
アメリカ古着が  
持つ魅力  
海を越えて感じる子への想い

アメリカ古着が持つ魅力  
海を越えて感じる子への想い

アメリカ古着が持つ魅力  
海を越えて感じる子への想い

アメリカの子ども服について、「大人が着る服がそのまま子どものサイズにならない」というイメージ。ウエストにゴムが入ったというやつ。シルエットした質の良い古着がセレクトされた。商品の中には、英語の名前がマジックで書かれているものや、ウエストを手縫いで詰めたもの、膝が破れないよう裏地をあつたりする日本の子ども服のような着物があります。それがカッコいい」と秋場さんは話します。

商品の中には、英語の名前がマジックで書かれているものや、ウエストを手縫いで詰めたもの、膝が破れないよう裏地をあつたりする日本の子ども服のような着物があります。それがカッコいい」と秋場さんは話します。

商品の中には、英語の名前がマジックで書かれているものや、ウエストを手縫いで詰めたもの、膝が破れないよう裏地をあつたりする日本の子ども服のような着物があります。それがカッコいい」と秋場さんは話します。

# 街の解像度を上げる本屋

ここがアガる↑  
本屋の新しい樂は  
見つけた!



栄原さんが選び抜いた  
おススメの新刊

※写真は取材時のものです。  
完売で店頭にない場合があります。

ゆとびやぶっくす



会社員生活10年が経ち、「このまま今仕事を続けていいのか?」と考え始めたという栄原さん。「自分が今やりたいこと」を改めて見つめ直した時、かつてアルバイトをしていた古本屋のことを思い出し、心の奥にあった「本に関わりたい」と決意。思い立つてからわずか4か月後に、お店をオープンしたそうです。

「じんな街かが  
見えてくる古本の魅力  
決心してから  
わずか4か月でオープン

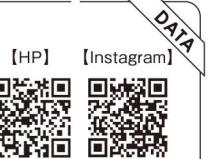
5分ほどどの場所にオープンした本屋さん「ゆとびやぶっくす」。古本と新刊本の販売に加え、店主に本を選んでもらう選書サービスのほか、課題の本を読んで語り合ったり、おスマートの本を紹介し合ったりする読書会も開催しています。人と人、本と人をつなぐコミュニケーションの想いがギュッと詰まっています。

2022年12月、南浦和駅から徒歩5分ほどの場所にオープンした本屋さん「ゆとびやぶっくす」。古本と新刊本の販売に加え、店主に本を選んでもらう選書サービスのほか、課題の本を読んで語り合ったり、おスマートの本を紹介し合ったりする読書会も開催しています。人と人、本と人をつなぐコミュニケーションの想いがギュッと詰まっています。

人と人、本と人をつなぐ  
新しいコミュニティ



店頭の看板は  
栄原さんの手づくり。  
本棚も家族や友人の協力を得ながら組み立てたのだそう



わたしが  
取材しました!

市民ライター  
岡 みなこさん(南区在住)

大好きな街と関わることがしたいと  
市民ライターに参加しました。  
さいたま市在住で、野球が好き。  
愛猫と快適に暮す家を日々研究中です。



わたしが  
取材しました!

市民ライター  
岡 みなこさん(南区在住)

読書会も店内で開催しており、店主を入れて最大8人で2時間みっちり本について語り合います

